

平成 19 年 10 月の公社債市場

(1) 流通市場

長期国債

平成 19 年 10 月の債券市場は、買い優勢で始まり、前月末の利回り 1.675 % に対して初日の 10 年国債 288 回債の利回り (注 1) は 1.660 % となった。

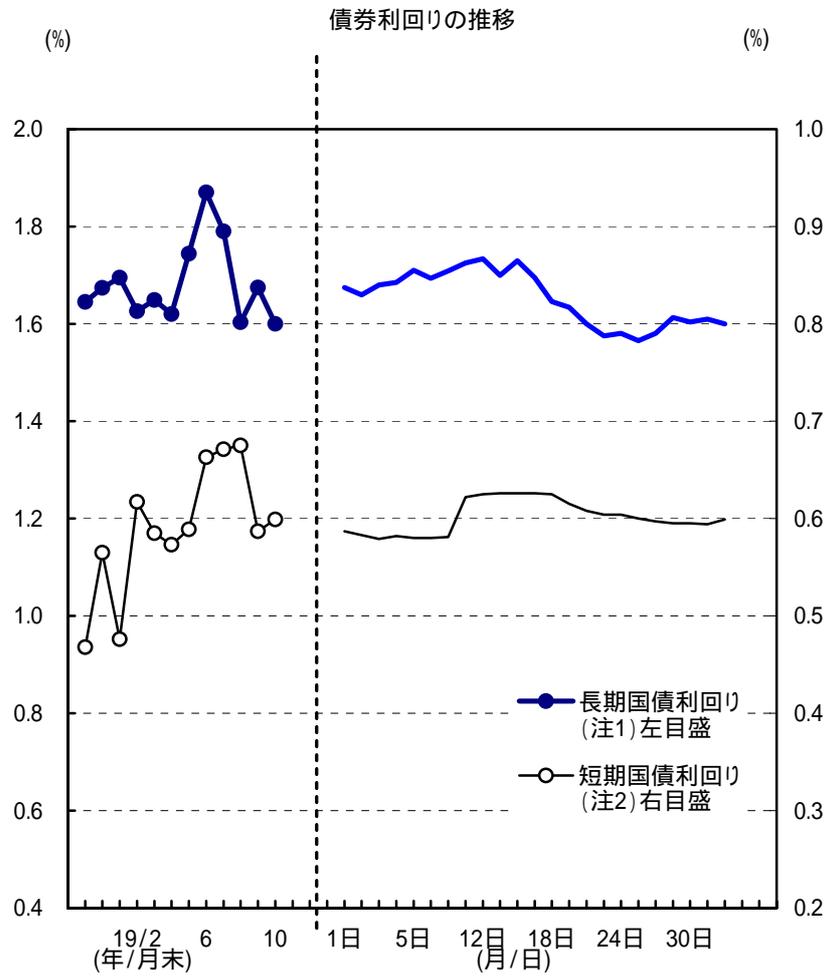
その後、米国 9 月の雇用統計において非農業部門雇用者数が増加 (併せて同 8 月の雇用統計も増加に修正) したこと等による内外の株価の上昇等を受け、利回りは上昇傾向となり、11 日には 1.734 % まで上昇となった。一方、サブプライム問題による内外の金融機関の損失の計上及び日経平均株価の下落等により、利回りは 1.700 % 台から降下を続け、22 日には 1.600 % を割る 1.575 % となり、24 日には 1.565 % までになった。以後、利回りは 1.600 % 前後で推移し、31 日の 10 年国債 288 回債の利回りは 1.600 % となり、前月末の 1.675 % に比べて 0.075 % ポイントの低下となって 10 月の取引を終えた。

(注 1) 長期国債 (10 年) 直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

短期国債等

平成 19 年 10 月の政府短期証券の利回り (注 2) は、初日に 0.583 % と前月末の 0.587 % よりも 0.004 % ポイント低い利回りで始まった。米国 9 月の雇用統計の発表等を受けて 10 日には 0.600 % を超え、16 日には 0.626 % まで上昇したが、以後は下降傾向となり、0.600 % 前後での小幅な動きとなった。31 日には利回りは 0.599 % となり、前月末の 0.587 % に比べて 0.012 % ポイントの上昇となった。

(注 2) 政府短期証券 (3 か月) 直近発行に係るものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。



(注1) 長期国債(10年)直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値の
 平均値(単利)。

(注2) 政府短期証券(3か月)直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値の
 平均値(単利)。

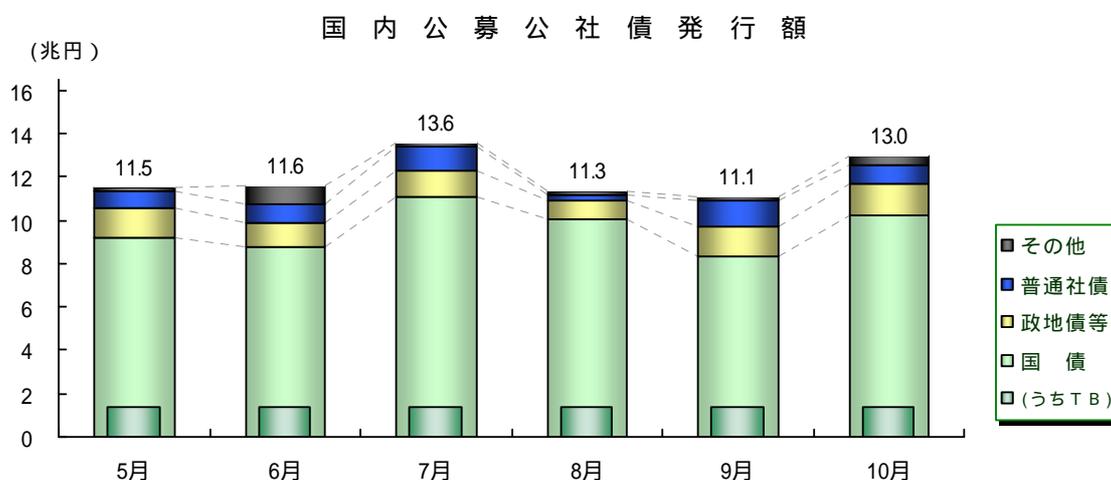
参考

日付	長期国債回号		短期国債回号	
		参考統計値		参考統計値
9月28日	288回債(発行済)	1.675	476回債	0.587
1日	288回債(20日発行)	1.660		0.583
2日		1.680		0.579
3日		1.685	479回債	0.582
4日		1.710		0.580
5日		1.694		0.580
9日		1.709		0.581
10日		1.725	480回債	0.622
11日		1.734		0.625
12日		1.700		0.626
15日		1.730		0.626
16日		1.695		0.626
17日		1.646	481回債	0.625
18日		1.634		0.615
19日		1.600		0.608
22日		1.575		0.604
23日		1.580		0.604
24日		1.565	482回債	0.600
25日		1.580		0.597
26日		1.613		0.595
29日		1.604		0.595
30日		1.610		0.594
31日		1.600	484回債	0.599

(2) 発行市場

平成 19 年 10 月の国内公募公社債発行額は、13 兆 142 億円と前月 11 兆 574 億円に比べて 1 兆 9,568 億円の大幅な増加となった。その主な要因は次の通りである。

- ア 国債について、個人向け国債の発行があったこと等から、10 月の発行額が 10 兆 2,024 億円と、前月 8 兆 3,520 億円に比べて 1 兆 8,504 億円の大幅な増加となったこと。
- イ 9 月に続いて政府保証債の発行額は若干の減少となったものの、地方債及び財投機関債の発行額が、それぞれ 5,000 億円を超える額となったこと。地方債、政府保証債及び財投機関債等の合計額は、9 月の発行額（今年度最高の発行額）1 兆 4,001 億円を 517 億円上回る 1 兆 4,518 億円となったこと。なお、10 月には平成 19 年 2 月以降に行われていなかった地方公社債の発行があった。
- ウ 普通社債について、銀行社債の発行額が増加したものの、普通社債全体の発行額は 9,100 億円と前月 1 兆 1,583 億円に比べて 2,483 億円の減少となったこと。なお、9,100 億円という額は今年度中では 9 月、7 月に続く高水準の発行額であり、また前年度 9 月の発行額 5,380 億円に比べても高い発行額となっている。



- (注) 1. 国内で発行された公募債のみを対象として集計(払込日ベース)。
2. 国債は市中消化分。ただし、郵貯窓販分及び個人向け国債を含む。
3. 政地債等は、地方債、政府保証債、財投機関債及び地方公社債の合計。
4. その他は、転換社債型新株予約権付社債(CB)、資産担保型社債及び円建外債の合計。

国債

発行額 (億円)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月比
国債	92,146	87,714	110,491	100,257	83,520	102,024	18,504
(うち 割引短期国債)	(14,000)	(14,000)	(14,000)	(13,987)	(14,000)	(14,000)	(0)
(うち 個人向け国債)	(0)	(0)	(19,676)	(0)	(0)	(9,624)	(9,624)

(注) 億円未満は四捨五入(以下同じ)

地方債、政府保証債及び財投機関債等

発行額 (億円)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月比
地方債	4,607	4,533	4,860	3,375	5,174	5,668	494
(うち 住民参加型)	(207)	(333)	(220)	(155)	(374)	(0)	(374)
政府保証債	2,700	3,400	3,650	3,900	3,600	3,300	300
財投機関債	6,471	2,864	3,957	1,291	5,227	5,400	173
地方公社債	0	0	0	0	0	150	150

普通社債

発行額 (億円)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月比
普通社債	7,930	8,600	11,140	3,290	11,583	9,100	2,483
(うち 個人向け社債)	(350)	(100)	(650)	(100)	(0)	(0)	(0)
電力債	2,250	1,500	1,000	1,200	2,700	1,350	1,350
一般事業債	3,580	7,100	4,690	2,090	8,490	4,500	3,990
NTT・JR・JT債	1,300	0	1,500	0	0	400	400
銀行社債	800	0	3,950	0	393	2,850	2,457

(注) 1. 一般事業債には、放送債券及び投資法人債券を含む。
2. 普通社債のうち個人向け社債は、個人向けであることを引受証券会社に確認できたもの。

円建外債、C B 及び資産担保型社債

発行額 (億円)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月比
C B	0	200	0	0	0	0	0
資産担保型社債	0	0	0	500	0	2,250	2,250
円建外債	1,600	8,490	1,580	700	1,470	2,250	780